

・ホシガレイ稚魚の主要な餌料生物であるアミ類は松川浦では7～9月に多く、以降は減少し、3月にやや増加傾向にあると考えられた（調査期間：7月～翌年3月）。

### （3）放流効果調査

全長7.5cmで相馬地先に放流された平成11年放流群6,800尾の回収尾数は714尾（平成13年12月現在）と推定され、回収率は10.5%と算出された。その回収金額は733千円と推定された。

また、回収金額を放流尾数で割った種苗1尾当たりの回収金額は約108円／尾と試算され、経済的な効果を得るためには種苗1尾当たりの種苗生産放流経費が、この数値を下回る必要があると推測された。